

【熊本 S. J. C. D. 例会 抄録】

演題 臼歯部にインプラントを用いた咬合再構成

月日 2008年2月22日(火)

演者名 関 喜英

Keywords

1. インプラント
2. 咬合再構成
3. プロビジョナルレストレーション

抄録

咬合崩壊は、カリエスや歯周病などの何らかの原因で1本の歯を喪失することから始まります。そして、プラークコントロールの不良や治療せずに放置するなどの患者側の問題だけではなく、不良補綴物、選択した補綴設計の力学的な問題、不適合なパーシャルデンチャー、誤った顎位における修復治療などの不適切な歯科治療の介入によっても更なる歯の喪失を招き、咬合崩壊が進んでいくケースも少なくありません。

今回は、臼歯部の喪失により咬合崩壊をきたしている症例に対して、インプラントを用いて咬合再構成を図っているケースを発表したいと思います。まだ、二次手術前で、デンチャーとプロビジョナルレストレーションの段階ではありますが、現在までの治療の問題点と改善点、今後のファイナルまでの進め方について諸先生方の良きアドバイスが頂ければ幸いです。